

# 報道関係者と民博との懇談会

2023年2月16日(木)15:30~17:00

# 話題一覧

懇談会

## 1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長)—

## 2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長)—

## 3. 公開講演会『目に見えないもの』と生きる一食からみたヒトと微生物のかかわり

[詳しくはこちら](#)

コロナ禍ではわたしたちの生が「目に見えないもの」との関係において成り立っていることがあらわになりました。そのことを踏まえ、食を切り口にヒトと微生物などの「目に見えないもの」とのかかわり合いについて考えます。

日時 3月31日(金)18時30分~20時45分(17時30分開場)

会場 オーバルホール(大阪市北区梅田)

定員 480名(事前申込制、先着順、手話通訳あり)

参加費 無料

講演 奈良雅史(本館 准教授)、梅崎昌裕(東京大学 教授)、  
小倉ヒラク(発酵デザイナー)

コメント 宇田川妙子(本館 教授)

パネルディスカッション 奈良雅史、梅崎昌裕、小倉ヒラク、宇田川妙子



— 奈良 雅史 (超域フィールド科学研究部 准教授) —

## 4. 第40回人文機構シンポジウム

### 「人類妄想進化論—文学はいかに地球社会を共創するのか?」(人間文化研究機構主催)

[詳しくはこちら](#)

文学と地域研究をテーマに、わたしたちはどのように地球社会を共創していくのかを考察。京都に縁の深い作家・森見登美彦氏とともに「妄想が人類を進化させた?」と題して座談会を行います。

日時 3月25日(土)13時~16時(12時30分開場)

会場 京都府立京都学・歴史館

定員 200名(事前申込制、先着順、手話通訳あり)

参加費 無料

講演 西尾哲夫(本館 教授)、山中由里子(本館 教授)

座談会 森見登美彦(作家)、西尾哲夫、山中由里子



— 西尾 哲夫 (グローバル現象研究部 教授) —

## 5. 人間文化研究機構 共創先導プロジェクト（共創促進研究）

「学術知デジタルライブラリの構築」国立民族学博物館拠点（X-DiPLAS）関連シンポジウム

### 「写真家・井上隆雄の視座を継ぐ ―仏教壁画デジタルライブラリと芸術実践―」

詳しくはこちら

井上隆雄は1970年代にインド・ラダックとミャンマー・バガン取材し、確かな技術で仏教壁画をとらえました。井上が残した写真資料の可能性と意義を考えます。併せて、関連資料を展示します。

日時 3月12日(土)13時～17時（12時開場）

会場 本館 第4セミナー室

定員 50名（事前申込制、先着順）

参加費 無料

発表者・解説

正垣雅子(京都市立芸術大学 准教授)、石山俊(本館プロジェクト研究員)、丸川雄三(本館 准教授)、岡田真輝(京都市立芸術大学 井上隆雄写真資料アーカイブ研究員)、寺井淳一(東京外国語大学 特別研究員)、翟建群(京都市立芸術大学 特任准教授)

ディスカッションモデレーター 末森薫(本館 准教授)



— 末森 薫 (人類基礎理論研究部 准教授) —

## 6. 本館展示

### 本館が目指す展示場のユニバーサル化について

国立民族学博物館では、第4期中期目標期間の6年間（2022～2027年度）に展示場のユニバーサル化を目指して、様々な取り組みを実施しております。今回は、現在進行中のモビリティ（自動走行型電動車椅子）の展示場への導入計画などについて、お話しします。

※懇談会終了後、展示場のユニバーサル化に向けた計画の一つとして実施するモビリティ（自動走行型電動車椅子）の自動走行実証実験を公開します。ご参加いただいた方には、モビリティに試乗いただける予定です。

— 日高 真吾 (人類基礎理論研究部 教授) —

※情報課 映像音響係の職員がお話しします。



国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報・IR係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp